

第1回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

新法を育てよう！ みんなで育てよう！



初日のプログラムはいかがでしたでしょうか？

第1・第2会場とも満席ということもあり、会場内に熱気が満ちてご不便をおかけしている点がありますこととお詫び申し上げます。また、本日の大会の様子は、お昼にNHK大阪のニュースで、また午後3時にはNHKの全国放送で流れました。

速報2号では、本で行われた「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」設立総会から、開会までをダイジェストで振り返ります。

生活困窮者自立支援全国ネットワーク設立総会に200人超！

本日 10:30 より、「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」設立総会が開催されました。

ネットワーク代表発起人である岡崎誠也さん（高知市長）の「幅広い関係者が、深く、熱く議論する場として全国ネットワークをつくりあげよう」という挨拶から始まった設立総会には、代表発起人3人を含む発起人16人のほか、190人ものオブザーバーが設立を見守りました。

来賓祝辞では、村木厚子さん（厚生労働省事務次官）より、現場を支えてきた人たちによるネットワーク設立の意義とともに、「時には弱音をまくことができ、明日からの活動のエネルギーを補充する場として期待したい」とエールが送られました。

議事は、定款や役員選任など、4つの議案が審議され、発起人の承認によりすべて可決されました。

発起人からは、「生活困窮者自立支援法をみんなで育てなければならぬ。このためにも、現場の声を国にあげる政策提言がネットワークの大きな役割である」（奥田知志さん/NPO 法人抱樸）、「地域づくりがネットワークの大きなテーマ。この観点でも課題を整理し、提言していくべき」（岡崎誠也さん）という意見が出され、ネットワークへの熱い期待と意欲が寄せられました。



代表世話人の岡崎誠也さん（高知市長）



○代表世話人：岡崎誠也（高知市長）
宮本太郎（中央大学 教授）
奥田知志（NPO 法人 抱樸 理事長）

（敬称略）

会員大募集！

生活困窮者支援に携わる方々の出会いと交流、学びの場をつくれます。今大会に参加の方は、年会費3,000円を全国研究交流大会参加費から振り替えますので、加入申込書をご記入いただくだけで会員になっていただけます。

ご希望の方は、本日配布資料にある加入申込書にご記入のうえ、受付にてご提出を！

いざ、開会！

●明日の分科会2「就労支援」のパネラーには、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会事務局長の岡田百合子さんに代わりまして、同協会事務局次長の松川由実さんが登壇されます。



主催者あいさつ

岡崎誠也さん（高知市長）

「一人ひとりへと社会への双方のかかわりが問われています。
さまざまな地域づくりと生活困窮を救うような実践へつながることを期待したい」

歓迎のことば

牧里每治さん（関西学院大学）

「総合相談では、出口がないと相談の価値がなくなる。雇用には至らないけれど地域に参加する、貢献できる参加の場づくり、そのきっかけをこの研修で持ち帰ってほしい」



来賓祝辞

山本香苗さん（厚生労働省副大臣）

「ここに集う皆様の思いが結実してできた生活困窮者自立支援法。法理念を魂にたたき込んで、一緒にがんばりましょう」

金澤和夫さん（兵庫県副知事）

「阪神・淡路大震災から20年の節目を迎え、震災という犠牲を払って得た教訓を思いだし、自助・共助の大切さを心に刻みつけ次につながる取り組みをすすめている。新法は画期的な法律であり、現場での知恵がますます必要になります」



今村岳司さん（西宮市市長）

「西宮市で生活困窮者自立支援ネットワークが設立され、研究交流集会が開催されたことを誇りに思う。貧困の連鎖も生じているなか、貧困の連鎖を断ち切る取り組みを」

会場の声

佐々木文明さん（秋田県 藤里町町長）

このたびご案内をいただき、参加させていただくことになりました。当社協ではすでに新法の一部事業を先んじて実践していますが、それらの取り組みと並行して、あるいはさらなる充実発展につなげるために、全国の事例を勉強させていただきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会場の声

山崎史郎さん

（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局長代理）

全国から西宮に向けて、熱い風が吹いている熱気を感じます。明日は一体どうなるのでしょうか？！ 期待しています。

通信第3号は、2日目朝に分科会受付で配布予定です。ぜひお受け取りください！

（文責 事務局編集部）

